

研究業績書

2010年1月6日現在

三浦 麻子

[研究業績]

I. 学位論文

三浦麻子 (2002). 集団の創造的活動に関する実験社会心理学研究 大阪大学大学院人間科学研究科博士学位論文.

II. 著書

(共著)

- 1) 狩野裕・三浦麻子 (2002). グラフィカル多変量解析 (増補版) 現代数学社.
- 2) 山下清美・川浦康至・川上善郎・三浦麻子 (2005). ウェブログの心理学 NTT 出版.
- 3) 三浦麻子・森尾博昭・川浦康至 (編著) (2009). インターネット心理学のフロンティア 誠信書房.
- 4) 松村真宏・三浦麻子 (2009). 人文・社会科学のためのテキストマイニング 誠信書房.

(分担執筆)

- 1) 三浦麻子 (2006). 因果関係をモデリングするー共分散構造分析 吉田寿夫 (編著) 心理学研究法の新しいかたち 誠信書房 pp. 85-113.
- 2) 三浦麻子 (2008). インターネット革命: 私たちのコミュニケーションを変えたもの 橋元良明 (編著) メディア・コミュニケーション学入門 大修館書店 pp. 85-102.
- 3) 三浦麻子 (2008). ヴァーチャル・コミュニティ 橋元良明 (編著) メディア・コミュニケーション学入門 大修館書店 pp. 180-196.
- 4) 三浦麻子 (2009) ネット社会の人間関係 西垣悦代 (編著) 発達・社会からみる人間関係: 現代に生きる青年のために 北大路書房 pp. 153-168.
- 5) 三浦麻子 (2009). ネットコミュニティの社会心理学. 2010 ネットコミュニティ白書(pp. 118-124). メディアクリエイト.

III. 査読つき学術論文

- 1) 篠原一光・三浦麻子 (1999). WWW 掲示板を用いた電子コミュニティ形成過程に関する研究 社会心理学研究, **14**(3),144-154.
- 2) 三浦麻子 (2001). ブレーンストーミングにおけるコミュニケーション・モードと目標設定の効果 対人社会心理学研究, **1**, 45-57.
- 3) 三浦麻子 (2001). コンピュータ・ネットワークを利用したアイデア創出に関する実験的研究ー匿名性と目標設定の効果ー 産業・組織心理学研究, **14**(2), 1-14.
- 4) 三浦麻子・藤原伸彦 (2001). WWW における情報検索に関する実験的研究 教育システム情報学会誌, **18**(1), 121-128.
- 5) 三浦麻子・篠原一光 (2001). CMC における状況の認知と情報発信行動 応用心理学研究, **27**(1), 25-35.
- 6) 三浦麻子・飛田操 (2002). 集団が創造的であるためにはー集団創造性に対する成員のアイデアの多様性と類似性の影響ー 実験社会心理学研究, **41**(2), 124-136.
- 7) 三浦麻子・篠原一光 (2002). チャット・コミュニケーションに関する心理学的研究ーログ記録の解析にもとづく探索的検討ー 対人社会心理学研究, **2**, 25-34.
- 8) 畦地真太郎・三浦麻子・篠原一光・町田佳世子 (2003). e-learning におけるデジタル・アウェアネスの効果 教育システム情報学会誌, **20**(2), 227-233.
- 9) Fujihara, N. & Miura, A. (2003). Patterns of searching for information on the World Wide Web: A pilot study.

- Psychological Reports*, **92**, 1091-1096.
- 10) Miura, A. (2003). Effects of communication medium and goal setting on group brainstorming. In K-S. Yang, K-K. Hwang, P. B. Pedersen, I. Daibo (Eds.), *Progress in Asian Social Psychology (vol. 3): Conceptual and Empirical Contributions*. London, UK: Greenwood. pp. 199-216.
 - 11) 三浦麻子・藤原伸彦 (2003). 情報を「攪拌」するグループウェアを用いた集団アイデア創出活動 教育システム情報学会誌, **20**(2), 170-178.
 - 12) 松村真宏・三浦麻子・柴内康文・大澤幸生・石塚満 (2004). 2ちゃんねるが盛り上がるダイナミズム 情報処理学会論文誌, **45**(3), 1053-1061.
 - 13) Miura, A. & Hida, M. (2004). Synergy between diversity and similarity in group-idea generation. *Small Group Research*, **35**(5), 540-564.
 - 14) Matsumura, N., Miura, A., Shibana, Y., Ohsawa, Y., & Nishida, T. (2005). The dynamism of 2channel. *Journal of AI & Society*, **19**(1), 84-92.
 - 15) Miura, A. & Shinohara, K. (2005). Social intelligence design in online chat communication: A psychological study on congestion effects. *Journal of AI & Society*, **19**(1), 93-109.
 - 16) Miura, A., Fujihara, N., & Yamashita, Koji (2006). Retrieving information on the World Wide Web: Effects of domain specific knowledge. *Journal of AI & Society*, **20**(2), 221-231.
 - 17) 三浦麻子・篠原一光 (2006). チャットにおける輻輳状況が発話行動に与える影響 — 単一話題に関して複数会話が同時並行する場合 — ヒューマンインタフェース学会論文誌, **8**(1), 41-48.
 - 18) Miura, A. & Yamashita, Kiyomi (2007). Psychological and social influences on weblog writing: An online survey of weblog authors in Japan. *Journal of Computer-Mediated Communication*, **12**(4), 1452-1471.
 - 19) Miura, A. (2007). Can weblogs cause the emergence of social intelligence? : Causal model of intention to continue publishing weblog. *Journal of AI & Society*, **22**(2), 237-251.
 - 20) 森尾博昭・畦地真太郎・三浦麻子 (2007). CSCL システム『KNITS』の改良の試み：認知的負荷の視点から 教育システム情報学会誌, **24**(3), 196-201.
 - 21) 三浦麻子・川浦康至 (2008). 人はなぜ知識共有コミュニティに参加するのか：質問行動と回答行動の分析 社会心理学研究, **23**(3), 233-245.
 - 22) 三浦麻子・川浦康至・新井田統 (2008). 対人コミュニケーションにおける画像情報の役割：カメラ付き携帯電話によるフィールド実験 対人社会心理学研究, **8**, 7-15.
 - 23) 三浦麻子・松村真宏・北山聡 (2008). ブログにおける作者の指向性と内容・コミュニケーションとの関連 心理学研究, **78**(5), 446-452.
 - 24) 三浦麻子・川浦康至 (2009). 内容分析による知識共有コミュニティの分析：投稿内容とコミュニティ観から, 社会心理学研究, **25**(2), 153-160.

IV. 査読なし学術論文

(依頼論文・閲読あり)

- 1) 三浦麻子 (2003). ネットワーク・コミュニケーションの諸相—コミュニケーションの特徴とさまざまな利用形態— シミュレーション&ゲーミング, **13**(1), 44-55.
- 2) 三浦麻子 (2005-2007). AI 研究における評価のための実践的 Tips : 研究計画から分析まで(1)~(6), チュートリアル疑問編 : 連載記事に関する Q&A 人工知能学会誌
(以下の 7 本の論文を 7 回にわたって連載)
 - ① 三浦麻子 (2005). AI 研究における評価のための実践的 Tips : 研究計画から分析まで(1) 概論 : 心理学的評価のための基本的視座 人工知能学会誌, **20**(6), 723-730.
 - ② 三浦麻子 (2006). AI 研究における評価のための実践的 Tips : 研究計画から分析まで(2) 技法 1 : 実験による評価 人工知能学会誌, **21**(1), 102-110.
 - ③ 三浦麻子 (2006). AI 研究における評価のための実践的 Tips : 研究計画から分析まで(3) 技法 2 : 調査による評価 人工知能学会誌, **21**(2), 225-233.
 - ④ 三浦麻子 (2006) AI 研究における評価のための実践的 Tips : 研究計画から分析まで(4) 分析 1 : 実験データの分析 人工知能学会誌, **21**(4), 480-489.
 - ⑤ 三浦麻子 (2006). AI 研究における評価のための実践的 Tips : 研究計画から分析まで(5) 分析 2 : 調

査データの分析 人工知能学会誌, **21**(5), 620-629.

- ⑥ 三浦麻子 (2006). AI 研究における評価のための実践的 Tips : 研究計画から分析まで(6) 演習 : よりよい評価研究を目指して 人工知能学会誌, **21**(6), 739-746.
- ⑦ 三浦麻子 (2007). チュートリアル疑問編:連載記事に関する Q&A 人工知能学会誌, **22**(3), 419-424.
- 3) Miura, A., Kawaura, Y., Jifuku, S., Otaki, N., & Okamoto, M. (2007). People who create knowledge sharing communities. In T. Washio et al. (Eds.) *New Frontiers in Artificial Intelligence (Lecture Notes in Computer Science)*. Springer. Pp.88-98.
- 4) 三浦麻子 (2008). ネットコミュニティでの自己表現と他者との交流 電子情報通信学会誌, **91**(2), 137-141.
- 5) Miura, A. & Matsumura, N. (2009). Social intelligence design: A junction between engineering and social sciences (Editorial for special issue). *AI & Society*, **23**(2), 139-145.

(紀要・報告書等)

- 1) 三浦麻子 (1996). 課題遂行におよぼす目標設定と自律性の効果 大阪大学人間科学部紀要, **22**, 111-132.
- 2) 三浦麻子・篠原一光 (1997). インターネットにおける CMC (Computer-Mediated Communication)に関する基礎的研究—WWW を用いた質問紙調査の実際— 大阪大学人間科学部紀要, **23**, 89-110.
- 3) 山下清美・三浦麻子・杉本卓・野村一夫 (1997). インターネットにおけるコミュニケーションは、そこに集まる人々にとってどのような意味を持つのか 情報処理学会研究報告(97-HI-73), 49-54.
- 4) 三浦麻子 (1999). 電子ネットワークにおけるコミュニティ形成に関する実験的研究 電気通信普及財団研究調査報告書, **13**, 300-313.
- 5) 福原知宏・松村憲一・畦地真太郎・三浦麻子・藤原伸彦・西田豊明 (2001). Public Opinion Channel: コミュニティのためのインタラクティブ放送システム 信学技報(HCS2001-11-17), 25-32.
- 6) 飛田 操・三浦 麻子 (2003). 集団の創造的活動における創発性—社会心理学的観点から 福島大学教育学部論集(教育・心理部門), **75**, 11-22.
- 7) 三浦麻子 (2004). 集団の創造的活動に関する実験社会心理学的研究 人間科学研究, **5**, 31-44.
- 8) 三浦麻子 (2004). 同期的オンラインコミュニケーションにおける情報処理と対人認知に関する実験的研究 立石科学技術振興財団助成研究成果集, **13**, 84-87.
- 9) 森尾博昭・畦地真太郎・三浦麻子 (2005). ダイナミック社会的インパクト理論を応用したコンピュータによる協調学習支援システム『KNITS』の実践と評価の試み, 平成 17 年度松下教育助成成果報告書, pp. 200-210.

V. 学会発表

(国際会議・査読つき)

- 1) Miura, A. & Fujihara, N. (2000). Experimental study of searching strategy on World Wide Web. XXVII International Congress of Psychology (*International Journal of Psychology, Abstracts of the XXVII International Congress of Psychology*, **35**(3/4), 84).
- 2) Matsumura, N., Miura, A., Shibana, Y., & Ohsawa, Y. (2003). The dynamism of online community. Paper presented at the 3rd International Workshop on Chance Discovery and Its Management (*Proceedings of A Full-day Workshop in HCI International 2003, Crete, Greece*, pp. 69-77).
- 3) Matsumura, N., Miura, A., Shibana, Y., Ohsawa, Y., & Nishida, T. (2003). The dynamism of 2channel. Paper presented at the 2nd International Workshop of Social Intelligence Design. Royal Holloway, University of London, Egham, Surrey, UK (Proceedings CD-ROM).
- 4) Miura, A & Shinohara, K. (2003). Social intelligence design in online chat communication: A psychological study on congestion effects. Paper presented at the 2nd International Workshop of Social Intelligence Design. Royal Holloway, University of London, Egham, Surrey, UK (Proceedings CD-ROM).
- 5) Miura, A., Fujihara, N., and Yamashita, Koji (2004). Retrieving information on the World Wide Web: Effects of domain specific knowledge. *Proceedings of the 3rd workshop on Social Intelligence Design (SID2004)*, pp. 91-99.
- 6) Miura, A. & Yamashita, Kiyomi (2004). Why do people publish weblogs? An online survey of weblog authors in Japan. Paper presented at Psychology & IT 2004, Parador Hotel Atlantico, Cadiz, Spain (In K. Morgan, J. Sanchez,

- C. A. Brebbia, & A. Voiskounsky (Eds.), *Human Perspectives in the Internet Society: Culture, Psychology and Gender*. Southampton, UK: WIT Press. pp. 43-50).
- 7) Miura, A. (2005). Can weblogs cause the emergence of social intelligence? : An online survey of weblog authors in Japan. Paper presented at the 4th International Workshop of Social Intelligence Design. Stanford University, California, USA (Proceedings CD-ROM).
 - 8) Miura, A. & Kawaura, Y. (2007). A field experiment in camera phone usage and interpersonal relationship. Paper presented at the 7th Conference of Asian Association of Social Psychology, Kota Kinabalu, Sabah, Malaysia (Proceedings CD-ROM).
 - 9) Miura, A. & Kawaura, Y. (2009). Helping behavior in Cyberspace. Paper presented at the 6th Biennial Conference of International Academy of Intercultural Research, University of Hawai'i at Manoa, Honolulu, HI (*Book of Abstracts*, p. 44).

(国内学会)

- 1) 三浦麻子 (1992). 企業組織の研究・開発職の専門性と働きがい 産業・組織心理学会第8回大会大会論文集, 52-54.
- 2) 三浦麻子 (1994). 小集団の創造性課題遂行に関する実験的研究(1) 日本心理学会第58回大会発表論文集, 157.
- 3) 三浦麻子 (1994). 小集団の創造性課題遂行に関する実験的研究(2) 日本社会心理学会第35回大会発表論文集, 352-353.
- 4) 三浦麻子・山下京・八木隆一郎 (1994). 研究・開発職の働きがいと職務の自律性 産業・組織心理学会第10回大会大会論文集, 41-43.
- 5) 三浦麻子 (1995). 目標コミットメントの測定方法に関する問題 日本社会心理学会第36回大会発表論文集, 102-103.
- 6) 三浦麻子 (1995). 目標コミットメントーパフォーマンスの関係に及ぼす自律性の効果 日本心理学会第59回大会発表論文集, 197.
- 7) 三浦麻子・篠原一光 (1996). WWWを利用した質問紙調査の可能性(1) 日本心理学会第60回大会表論文集, 93.
- 8) 三浦麻子・篠原一光 (1996). WWWを利用した質問紙調査の可能性(2) 日本社会心理学会第37回大会発表論文集, 134-135.
- 9) 三浦麻子 (1997). インターネットって何をするとところ? 何ができるところ? 日本社会心理学会第38回大会発表論文集, 280-281.
- 10) 飛田 操・三浦 麻子 (1998). 集団目標とグループの創造性 日本グループ・ダイナミックス学会第46回大会発表論文集, 98-99.
- 11) 三浦麻子・飛田操 (1998). 親密性と目標コミットメントが集団の創造性活動に及ぼす影響 日本グループ・ダイナミックス学会第46回大会発表論文集, 100-101.
- 12) 三浦麻子・篠原一光 (1998). WWW掲示板を用いた電子コミュニティ形成過程に関する研究(2) 日本社会心理学会第39回大会発表論文集, 118-119.
- 13) 藤原伸彦・三浦麻子 (1999). WWWでの情報検索プロセスの検討(2) 日本心理学会第63回大会発表論文集, 445.
- 14) 三浦麻子・藤原伸彦 (1999). WWWでの情報検索プロセスの検討(1) 日本心理学会第63回大会発表論文集, 444.
- 15) 三浦麻子・飛田操 (1999). 集団の創造性に及ぼす成員の異質性と報酬の効果 日本グループ・ダイナミックス学会第47回大会発表論文集, 92-93.
- 16) 三浦麻子 (2000). コンピュータ・ネットワークを利用したアイデア創出に関する実験的研究 日本社会心理学会第41回大会発表論文集, 524-525.
- 17) 三浦麻子・飛田操 (2000). creative potential が集団創発性におよぼす影響 日本グループ・ダイナミックス学会第48回大会発表論文集, 158-159.
- 18) 畦地真太郎・福原知宏・藤原伸彦・松村憲一・寺田和憲・久保田秀和・三浦麻子・矢野博之・西田豊明 (2001). パブリック・オピニオン・チャンネルー実用化と心理学的評価の試みー人工知能学会第15回全国大会口

- 頭発表（論文集 CD-ROM）。
- 19)三浦麻子・藤原伸彦 (2001). 集団の創造的活動支援に関する社会心理学的研究 人工知能学会第 15 回全国大会（論文集 CD-ROM）。
 - 20)三浦麻子・飛田操 (2001). 集団創造性における集団の多様性と類似性の影響 日本心理学会第 65 回大会発表論文集, 794.
 - 21)三浦麻子・篠原一光 (2002). チャット・コミュニケーションに関する心理学的研究—ログ記録の解析にもとづく探索的検討— 日本心理学会第 66 回大会発表論文集, 177.
 - 22)三浦麻子・篠原一光 (2002). チャット場面における話題の輻輳がコミュニケーションに及ぼす影響 日本社会心理学会発表論文集, 188-189.
 - 23)松村真宏・三浦麻子・柴内康文・大澤幸生・石塚満 (2003). 2ちゃんねるが盛り上がるメカニズムの解明 情報処理学会第 65 回全国大会（論文集 CD-ROM）。
 - 24)松村真宏・三浦麻子・柴内康文・大澤幸生・石塚満 (2003) 2ちゃんねるが盛り上がるメカニズムの解明 日本グループ・ダイナミクス学会第 50 回大会発表論文集, 272-273.
 - 25)三浦麻子・飛田操 (2003). 集団創造性におよぼすメンバーの多様性と類似性の相乗効果 日本社会心理学会第 44 回大会発表論文集, 208-209.
 - 26)三浦麻子・飛田操 (2004). 集団創造性におよぼすメンバーの多様性と類似性の相乗効果—メンバーの多様性への注目とパフォーマンスの関連について— 日本グループ・ダイナミクス学会第 51 回大会発表論文集, 108-109.
 - 27)三浦麻子・山下清美 (2004). 人はなぜウェブ日記・ウェブログを書き続けるのか(1) 日本社会心理学会第 45 回大会発表論文集, 676-677.
 - 28)森尾博昭・畦地真太郎・三浦麻子 (2004). 非同期型 CSCL システム KNITS によるオンライン意見交換と相互評価の試み 教育システム情報学会第 29 回全国大会講演論文集, 253-254.
 - 29)山下清美・三浦麻子 (2004). 人はなぜウェブ日記・ウェブログを書き続けるのか(2) 日本社会心理学会第 45 回大会発表論文集, 694-695.
 - 30)金政祐司・三浦麻子・谷口淳一・小林知博・清水裕士・石盛真徳 (2005). ペアデータに基づく熟年夫婦の研究(2)—愛情の 3 要素とコミュニケーション態度が夫婦関係の満足度に及ぼす影響— 日本心理学会第 69 回大会発表論文集, 143.
 - 31)川浦康至・山下清美・三浦麻子 (2005). 人はなぜウェブログを書き続けるのか(5)—作者の志向から 日本心理学会第 69 回大会発表論文集, 268.
 - 32)小林知博・谷口淳一・清水裕士・石盛真徳・金政祐司・三浦麻子 (2005). ペアデータに基づく熟年夫婦の研究(3)—夫婦間の自己呈示と夫婦関係の満足度の関連性— 日本心理学会第 69 回大会発表論文集, 144.
 - 33)松村真宏・三浦麻子 (2005). ブログにおける書き手の意図とモダリティ表現 第 19 回人工知能学会全国大会 (<http://www-kasm.nii.ac.jp/jsai2005/schedule/pdf/000133.pdf>) .
 - 34)三浦麻子 (2005). 社会心理学的観点から見た集団の創発性—アイデアの多様性と類似性の相乗効果モデルの実験的検証— 第四回シナリオ創発ワークショップ予稿集, 21-26.
 - 35)三浦麻子・北山聡 (2005). ウェブログ読者にとってウェブログとは何か—「Doblog」利用者の意識調査結果から 日本社会心理学会第 46 回大会発表論文集, 478-479.
 - 36)三浦麻子・山下清美・川浦康至 (2005). 人はなぜウェブログを書き続けるのか(4)—継続意思に関する因果モデルの検討 日本心理学会第 69 回大会発表論文集, 267.
 - 37)清水裕士・石盛真徳・金政祐司・三浦麻子・谷口淳一・小林知博 (2005). ペアデータに基づく熟年夫婦の研究(1)—夫婦のコミュニケーションパターンと関係性の関連— 日本心理学会第 69 回大会発表論文集, 142.
 - 38)山下清美・三浦麻子・川浦康至 (2005). 人はなぜウェブログを書き続けるのか(3)—ウェブログのタイプ、スタイルと書き手の意識の関係 日本心理学会第 69 回大会発表論文集, 266.
 - 39)川浦康至・三浦麻子・地福節子・大瀧直子・岡本真 (2006). 知識共有コミュニティを創り出す人たち(2) 日本社会心理学会第 47 回大会発表論文集, 496-497.
 - 40)松村真宏・三浦麻子 (2006). Doblog の利用に関するアンケート調査からみたユーザ像 人工知能学会第 20 回全国大会 (URL: <http://www.jaist.ac.jp/jsai2006/program/pdf/100178.pdf>) .
 - 41)三浦麻子・金政祐司・谷口淳一・小林知博 (2006). ペアデータに基づく未婚カップルの研究(2)—愛情の

- 3 要素とコミュニケーション態度が未婚カップルの満足度に及ぼす影響 日本心理学会第 70 回大会発表論文集, 256.
- 42)三浦麻子・川浦康至・地福節子・大瀧直子・岡本真 (2006). 知識共有コミュニティを創り出す人たち 人工知能学会第 20 回全国大会 (URL: <http://www.jaist.ac.jp/jsai2006/program/pdf/100163.pdf>) .
- 43)三浦麻子・川浦康至・地福節子・大瀧直子・岡本真 (2006). 知識共有コミュニティを創り出す人たち(3) 日本社会心理学会第 47 回大会発表論文集, 498-499.
- 44)谷口淳一・小林知博・三浦麻子・金政祐司 (2006). ペアデータに基づく未婚カップルの研究(1)ー未婚カップル間の自己呈示と相手への自己評価, 及び関係満足度の関連性 日本心理学会第 70 回大会発表論文集, 255.
- 45)三浦麻子・川浦康至・地福節子・大瀧直子・岡本真 (2006). 知識共有コミュニティを創り出す人たち 人工知能学会第 20 回全国大会 (URL: <http://www.jaist.ac.jp/jsai2006/program/pdf/100163.pdf>) .
- 46)三浦麻子・川浦康至・地福節子・大瀧直子・岡本真 (2007). 知識共有コミュニティを創り出す人たち(4) 人工知能学会第 21 回全国大会 (URL: <http://www.ai-gakkai.or.jp/jsai/conf/2007/data/pdf/100292.pdf>) .
- 47)松村真宏・三浦麻子 (2007). ブログ記事における男女別・年代別・地域別傾向の分析 人工知能学会第 21 回全国大会 (URL: <http://www.ai-gakkai.or.jp/jsai/conf/2007/data/pdf/100218.pdf>)
- 48)三浦麻子・川浦康至・地福節子・大瀧直子・岡本真 (2007). 知識共有コミュニティを創り出す人たち(4) 人工知能学会第 21 回全国大会 (URL: <http://www.ai-gakkai.or.jp/jsai/conf/2007/data/pdf/100292.pdf>) .
- 49)三浦麻子・山下耕二・藤原伸彦 (2007). サーチエンジンを利用した情報検索行動ー単独場面と協調場面の比較 日本心理学会第 71 回大会発表論文集, 549.
- 50)藤原伸彦・三浦麻子・山下耕二 (2007). 眼球運動を指標とした Web 検索プロセスの検証 教育システム情報学会第 32 回全国大会講演論文集, 422-423.
- 51)三浦麻子・川浦康至・地福節子・大瀧直子・岡本真 (2007). 知識共有コミュニティを創り出す人たち(5)ー継続的/積極的参加者の特徴 日本社会心理学会第 48 回大会発表論文集, 380-381.
- 52)市瀬龍太郎・山川宏・庄司裕子・三浦麻子 (2007). シミュレーション世界における行為者の模倣エージェントの作成と知識獲得支援 Joint Agent Workshops and Symposium 2007 (JAWS2007) (URL: <http://www-al.is.kyushu-u.ac.jp/jaws2007/program.html#Discussion-Knowledge>) .
- 53)三浦麻子・川浦康至・地福節子・大川英哉・竹内美尋・岡本真 (2008). モバイル化で知識共有コミュニティは変容するのか 人工知能学会第 22 回全国大会 (URL: <http://www.ai-gakkai.or.jp/jsai/conf/2008/program/pdf/100216.pdf>) .
- 54)市瀬龍太郎・庄司裕子・山川宏・三浦麻子 (2008). 学習者モデリング技術を用いたゲーム型教育システムのための研究プラットフォームの構築 人工知能学会第 22 回全国大会 (URL: <http://www.ai-gakkai.or.jp/jsai/conf/2008/program/pdf/100132.pdf>).
- 55)三浦麻子・大賀暁・土井伸一・山田敬嗣 (2008). 対人コミュニケーションにおけるメディア選択ー大規模 Web 調査データにもとづく検討 日本グループ・ダイナミクス学会第 55 回大会(P1-13).
- 56)三浦麻子・大賀暁・土井伸一・山田敬嗣 (2008). 対人コミュニケーションにおけるメディア選好と個人特性 日本心理学会第 72 回大会(2AM160).
- 57)三浦麻子・川浦康至・地福節子・大川英哉・竹内美尋・岡本真 (2008). 知識共有コミュニティを創り出す人たち(6)ー第 2 回調査データの分析: 仮説モデルの検証に向けて 日本社会心理学会第 49 回大会 (P06-7).
- 58)三浦麻子・川浦康至 (2009). 知識共有コミュニティを創り出す人たち(7) 回答投稿という援助行動を支える心理的過程 日本心理学会第 73 回大会(1EV003).
- 59)楠見孝・三浦麻子・小倉加奈代 (2009). がん・アトピー性皮膚炎患者・家族のインターネット行動(1): 批判的思考が情報信頼性評価と病気への適応に及ぼす効果 日本社会心理学会第 50 回大会・日本グループ・ダイナミクス学会第 56 回大会 合同大会(S18-03).
- 60)三浦麻子・楠見孝・小倉加奈代 (2009). がん・アトピー性皮膚炎患者・家族のインターネット行動(2): インターネット上の情報への期待に関するテキストマイニングによる検討 日本社会心理学会第 50 回大会・日本グループ・ダイナミクス学会第 56 回大会 合同大会(S18-04).
- 61)小倉加奈代・楠見孝・三浦麻子 (2009). オンライン仮想空間を利用したがん患者のコミュニティ形成: 発言行動分析に基づいたコミュニティ成熟度の検討 日本社会心理学会第 50 回大会・日本グループ・ダイナミクス学会第 56 回大会 合同大会(S18-05).

- 62)大槻一貴・三浦麻子・大坊郁夫 (2009). 2 者間対話場面における話題と聞き手の姿勢が話者に与える影響
日本社会心理学会第 50 回大会・日本グループ・ダイナミクス学会第 56 回大会 合同大会(P05-50).

VI. その他（翻訳、事典、辞書など）

（共訳）

- 1) Chemers, M. M. (1997). *An integrative theory of leadership*. Mahwah, NJ: Lawrence Erlbaum Associates, Inc.
(チェマーズ M. M. 白樫三四郎（訳編）（1999）. リーダーシップの統合理論 北大路書房（翻訳担当
第 5 章『交流理論と交換理論』, pp. 84-108.）)
- 2) Sternberg, R. J. (Ed.) (1997). *Teaching introductory psychology: Survival tips from the experts*. Washington DC:
American Psychological Association.
(スタンバーグ R. J. 宮元博章・道田泰司（編訳）（2000）. アメリカの心理学者 心理学教育を語る 北
大路書房（翻訳担当第 8 章『効果的な教師になるためのモデル』, pp. 154-174.）)
- 3) Joinson, A. N. (2003). *Understanding the psychology of Internet behaviour: Virtual worlds, real lives*. Hampshire,
UK: Palgrave Macmillan.
(ジョインソン A. N. 三浦麻子・畦地真太郎・田中敦（訳）（2004）. インターネットにおける行動と
心理—バーチャルと現実のはざままで 北大路書房）

（事典）

- 1) 三浦麻子 (2007). メディア・コミュニケーション 日本応用心理学会（編） 応用心理学事典 丸善 pp.
422-423.
- 2) 三浦麻子 (2009). 集団の効果性と創造性 日本社会心理学会（編） 社会心理学事典 丸善 pp. 334-335.
- 3) 三浦麻子 (2009). 相関モデルと因果モデル 日本社会心理学会（編） 社会心理学事典 丸善 pp.
516-517.

（寄稿）

- 1) 三浦麻子 (2009.11.27) ネットを「心理学」する：「つながりたい」をかなえる場 産経新聞（大阪本社
版夕刊）

[職務上の実績]

I. 資格、免許

専門社会調査士（第 000387 号） 2005 年 10 月 1 日 取得

II. 特許等

特になし

III. その他の特記事項

（獲得外部資金）

科学研究費補助金（研究代表者）

- 1) 若手研究(B) 平成 15～16 年度 集団創発性の発生メカニズムに関する実験的研究
- 2) 基盤研究(B) 平成 17～19 年度 インターネットにおける検索リテラシー行動の解明：心理学的手法を用いた学際的研究
- 3) 基盤研究(C) 平成 20～22 年度 インターネット上の知識共有コミュニティに関する実証的研究

科学研究費補助金（研究分担者）

- 1) 基盤研究(C) 平成 13～14 年度 ネットワーク RPG を使用した社会的共有認知研究（研究代表者：有馬淑子）
- 2) 特定領域研究（情報爆発 IT 基盤） 平成 20 年度 仮想空間を利用したガン患者サポートグループの構築（研究代表者：楠見孝）

科研費以外の研究費（研究代表者）

- 1) 財団法人電気通信普及財団研究調査助成 平成 9 年度 電子ネットワークにおけるコミュニティ形成に関する実験的研究
- 2) 財団法人栢森情報科学振興財団研究助成 平成 10 年度 インターネットを利用したブレインストーミングに関する社会心理学的研究
- 3) 財団法人立石科学技術振興財団研究助成 平成 15 年度 同期的オンラインコミュニケーションにおける情報処理と対人認知に関する実験的研究
- 4) 財団法人電気通信普及財団研究調査助成 平成 17 年度 「ウェブログを書く」行動を規定する心理
- 5) 受託研究（日本電気株式会社） 平成 19 年度 対人コミュニケーションに関する基礎調査
- 6) 受託研究（株式会社博報堂） 平成 19 年度 オンラインディスカッション DISCUS プロジェクト
- 7) 受託研究（日本電気株式会社） 平成 20 年度 対人コミュニケーション基礎調査・分析
- 8) 学外共同研究（日本電気株式会社） 平成 21 年度 組織において創造性の高い働き方を実現するホワイトカラーとしての適性評価

科研費以外の研究費（研究分担者）

- 1) 財団法人大川情報通信基金研究助成 平成 14 年度 オンライン・チャット・コミュニケーションに関する心理学的研究（研究代表者：篠原一光）
- 2) 株式会社 KDDI 研究所受託研究 平成 18～20 年度 通信におけるユーザ心理評価手法の研究（研究代表者：川浦康至）